

第12回「VIVA JUDO！」^{カップ}杯小学生柔道大会 要項

1. 目的 柔道の基本技能を正しく修得させるとともに、柔道の試合を通じて心身の鍛錬及びその技能を磨き、明るく、正しく逞しい少年の健全育成を図る。また、将来を担う少年の相互親睦を図ることを目的とする。
2. 主催 公益財団法人 東京都柔道連盟
3. 企画・運営 株式会社 吉田企画
4. 日時 平成30年10月21日（日） 開会式 9時30分
＜開場＞ 監督・選手 7時45分～ 観客 8時15分～
5. 会場 東京武道館
〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-20-1
6. 試合種目 団体戦（3～6年）及び個人戦（1～2年）
7. 参加資格
 - ① 団体戦
 - (1) 各柔道場・警察道場・地区体育館及び柔道クラブ等の責任者のいるチームで練習を行っている小学生で3年生以上の男女とする。
 - (2) 団体・監督・選手とも今年度全日本柔道連盟に登録済みであること。
(未登録の場合は本大会に出場できないので速やかに登録手続きを行うこと)
 - (3) 出場する選手は出場する団体を通して登録をしていること。
 - (4) 監督は全柔連公認指導者資格（C指導員以上）を有していること。
 - (5) 出場するチームは、同一団体から2チームまで可能とする。
ただし、2チームの監督を兼任することはできない。
 - ② 個人戦
 - (1) 全日本柔道連盟に競技者登録をしている小学1・2年生の男女とする。
 - (2) 事故防止のため、休業期間おおむね6ヶ月以上で受身を修得済の者とする。
8. チーム編成 団体戦
 - (1) チームの編成は、道場・体育館・柔道クラブ単位とする。混成チームは認めない。
 - (2) 1チームの編成は、監督1名・選手5名とする。
 - (3) 選手の編成は大將は6年生、副將は6年生、中堅は5年生、次鋒は4年生、先鋒は3年生とする。学年に該当者がいない場合は1学年まで繰り上げて出場する事が出来る。ただし先鋒のみ繰上げ出場は認めない。
(2年生以下の出場は不可とする。)
 - (4) 選手は学年順に配列し同学年内は大將側から体重の重い順に配列する事。
9. 試合方法
 - ① 団体戦
 - (1) 試合はトーナメント戦で行う。
 - (2) 各チーム5名の点取り対抗戦とする。
 - (3) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - ア. 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - イ. 7で同等の場合は、「一本」（それと同様の勝ちを含む）による勝ち数の多い

チームを勝ちとする。

ウ. イ で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ. ウ で同等の場合は、代表戦を1回行い、必ず勝敗を決する。

出場する選手は「引分け」であった対戦の中から1試合を抽選で選出する。

② 個人戦

(1) 試合は、学年別・男女別・体重別のトーナメント戦で行う。

(2) 体重区分は負傷事故防止のため、申込書に記入されている選手の体重をもとに申込状況に応じて振り分ける。

10. 審判規定

① 団体戦

(1) 平成30年4月現在の国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行う。

(2) 試合時間

1回戦～準々決勝戦まで2分とし、準決勝戦・決勝戦は3分とする。

代表戦についても、それぞれ2分及び3分とする。

(3) 「優勢勝ち」の判定基準

勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」※1とし、得点差が無く差が1以内の場合は「引き分け」とする。但し、代表戦の場合は旗判定で必ず勝敗を決する。
(GSは行わない。)

② 個人戦

(1) 平成30年4月現在の国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行う。

(2) 試合時間は2分間とする。

(3) 「優勢勝ち」の判定基準

勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」※1とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。

※1「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

11. 表彰

① 団体戦

(1) 優勝・準優勝・第3位(2チーム)の計4チームを表彰する。

(2) 参加選手全員に参加賞を授与する。

② 個人戦

(1) 各種別、優勝・準優勝・第3位(2名)の計4名を表彰する。

ただし、出場選手数により変更する場合がある。

(2) 参加選手全員に参加賞を授与する。

12. 参加申込

(1) 申込期間 平成30年8月21日(火)～9月20日(木)

(2) 申込方法 オンライン申込み(東京都柔道連盟公式ウェブサイト内)

(3) 参加費 無料

(4) 申込に関する問い合わせ先

公益財団法人 東京都柔道連盟 TEL 03(3818)5639/4246

13. 選手変更

団体戦のみ

(1) 申込後の選手の変更は原則として認めない。

- (2) 負傷等で止むを得ず選手が欠場する場合は、申込みと同様にオンラインの選手変更から手続きを行うこと。この場合も、同学年内は大將側から体重の重い順に配列すること。以降の選手変更は如何なる理由でも認めない。

選手変更期間 10月13日(土) ~ 大会4日前(10月17日(水)) まで

- (3) 選手欠場の場合は申出のオーダーそのまま不戦敗とする。
 (4) 当日負傷等によって出場出来なくなった場合は欠員のままとする。

14. 組み合わせ 平成30年10月2日(火)(公財)東京都柔道連盟が行う。

15. 保 険
- (1) 主催者が参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。尚、万が一の事故発生に備え、参加者各人が別途傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策をたてておくこと。
 (2) 大会中の不慮の事故・疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。
 (3) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参すること。

16. ゼッケン ① 団体戦

- (1) 参加選手は着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付ける。
 (2) 所属名は『申込み団体名』とする。
 (3) ゼッケンを取り付けていない選手は、出場出来ない。
 (4) ゼッケンの仕様と縫い付け方
 ① サイズは横30cm~35cm・縦25cm~30cm
 ② 布地は白色(晒 太綾)
 ③ 書体は太いゴシック、明朝(楷書毛筆体を含む) 男子は黒色、女子は濃赤色。
 ④ 名字(姓)は上側2/3 所属名は1/3 (横書きであること)
 ⑤ 縫い付け場所は後ろ襟から5~10cm下部に位置する場所に縫い付け、対角線にも強い糸で縫い付ける。

図1. ゼッケンの縫付方

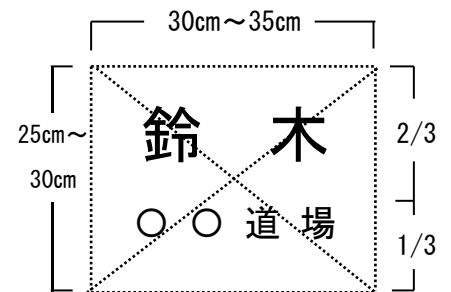
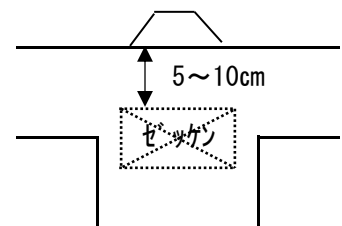


図2. ゼッケンの縫付位置



② 個人戦

- (1) 任意とする。

17. 脳震盪対応について

選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
 ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

18. そ の 他

- (1) 選手控道場は第一武道場とする。
- (2) 選手の宿泊及び大会当日の昼食は各自で用意すること。
- (3) 宿舎の斡旋は行わない。
- (4) 申込み情報（氏名・体重等）は、大会プログラムに記載されます。
また、大会時の写真等が新聞・雑誌・ホームページ等に掲載されることを了承されたものとして扱わせて頂きます。
- (5) 注意事項を前もって各チームに送付しますので厳守願います。